

情報活用型授業デザインシート Ver. 2.5 サンプル1

■基本情報

学年 教科	小学校4年 国語	単元 教材名	みんなで新聞をつくろう	日時 期間	
授業者				教室	普通教室
学習目標	<教科・情報活用のねらい>取材したことを整理して、分かりやすい記事を書く。読み手の興味をひく書き方を工夫する				

■コア・アクティヴィティ

エ. 取り扱う情報
<ul style="list-style-type: none"> 「つくつた・新聞」の「見出し」項目（エ1） 他の班が作成した新聞（エ2）
オ. 情報の扱い方の指導
<ul style="list-style-type: none"> つくつた教材から見出しのポイントをつかませる（オ1）
カ. 情報活用を伴った学習活動
<ul style="list-style-type: none"> 机上に新聞を置いておき、児童は他の班の新聞をみてS A B Cの4段階で評価をし、コメントを付せんで貼っていく（カ1,3）
キ. 情報活用を深める・高め合う
<ul style="list-style-type: none"> 自分の班に戻り、もらった付せんをもとに、グループ自分たちの課題を整理する（キ2,3）

■授業展開

導入 ア～ウ	<ul style="list-style-type: none"> 交流校の新聞を見せる（ア2） 交流校が読みたくなる新聞にしよう（イ1・2）
展開	
まとめ ク・ケ	<ul style="list-style-type: none"> 班の気づきをクラスで共有する（ケ1） 次時に具体的な校正作業に入ることを伝える（ケ2）

■ワークシート・ノート・制作物のイメージ



■情報活用に関する評価

評価規準	読み手の興味をひくような見出しの工夫ができている		
A (十分満足)	B (概ね満足)	C (努力を要する)	
伝えたいことのポイントを強調したり、興味をひくような見出しに工夫ができている。	伝えたいことのポイントをつかんだ見出しが書いている。	事実を伝えるだけだったり、読み手がわからない言葉を使った見出しひいている。	

情報活用型授業デザインシート Ver. 2.5 サンプル2

■基本情報

学年 教科	中2学年 技術・家庭科	単元 教材名	発信するときのモラル 教室を通して学校紹介をしよう！	日時 期間	
授業者				教室	2年教室
学習目標	<教科のねらい> 相手の立場に立った内容と正しい情報を発信する。 <情報活用の実践力>伝える相手を意識して内容や表現を工夫することができる。				

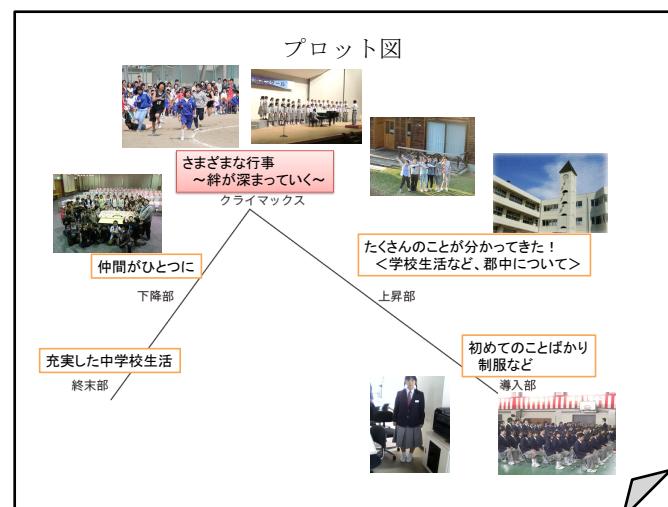
■コア・アクティヴィティ

エ. 取り扱う情報	
・ 学校行事の素材写真、学校要覧の電子データ、クラスの生徒が撮影した写真、小学生へのアンケート結果、ウェブ（エ2）	・ 情報モラルの課題がある作例（エ1）
オ. 情報の扱い方の指導	
・ プロット図に構成をまとめる（オ2）	・ 図からプレゼンかビデオにまとめる（オ3）
力. 情報活用を伴った学習活動	
・ プロット図に写真を貼りながら構成し、つながりを意識させる（力1）	・ 写真の扱いや情報の正確さを確かめられるよう、失敗例を示し気付かせる（力2）
キ. 情報活用を深める・高め合う	
・ プロット図をグループ内で検討し、構成や課題を検討する（キ3）	

■授業展開

導入 ア～ウ	・ 過去の学校紹介ビデオを見せる（ア2） ・ 小学生のニーズにあった学校紹介ビデオを制作する（イ1・2） ・ 本時までの制作過程を振り返る（ウ1）
展開	
まとめ ク・ケ	・ 情報モラルの観点から制作したスライドやビデオを相互に鑑賞する（ク1） ・ 作品例をクラス共有する（ケ1）

■ワークシート・ノート・制作物のイメージ



■情報活用に関する評価

評価規準	伝える相手を意識したわかりやすい内容、表現になっているか。		
A (十分満足)	B (概ね満足)	C (努力を要する)	
小学生のニーズを踏まえ、内容や表現を工夫している。情報の偏りだけでなく、重要性を意識して情報を選択している。	小学生が理解できる表現や、分からぬ言葉は説明している。一部の意見ではないことを確認した情報を選んでいる。	小学生にとってわかりやすい内容や表現（内輪の言葉や漢字の表記をしている）。偏った情報を発信している。	

情報活用型授業デザインシート Ver. 2 サンプル3

■基本情報

学年 教科	高校 英語	単元 教材名	Three-Minute Cooking	日時 期間	
授業者				教室	教室(グループ1台のiPad)
学習目標	<教科のねらい>現在完了、助動詞、受身の表現を理解し、料理レシピを説明できる <情報活用の実践力>相手に伝わるように表現を工夫できる				

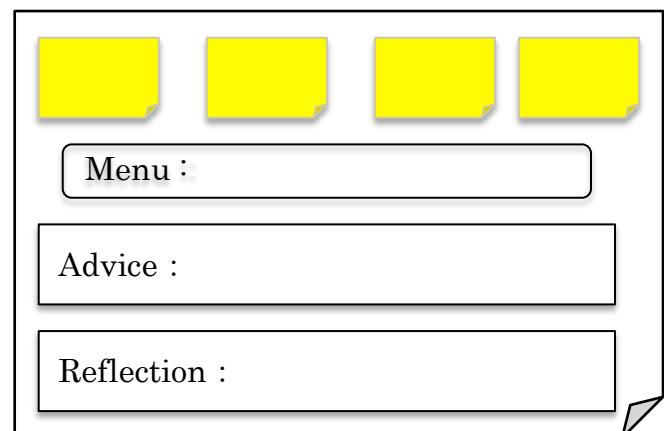
■コア・アクティヴィティ

エ. 新しい情報に出会う
・他のグループが制作したレシピ(エ2)
オ. 調べ方・まとめ方・伝え方を理解する
・2つのグループでお互いにレシピを読み上げ、聞き手は付せんでキーワードを書き留めることを伝える(オ2)
カ. 調べてみる・まとめてみる・伝えてみる
・グループ内で読み上げの練習をする(カ3)
・2つのグループ内でお互いにレシピを伝え、何の料理か推測しあう(カ3)
キ. グループで深める・高め合う
・ワークシートを聞き手に渡し、伝え方の良かった点や改善点を書いてもらう(キ3)

■授業展開

導入 ア～ウ	・デジタル教科書で例示する(ア2) ・レシピを英語で伝えよう(イ1) ・単語やフレーズの確認(ウ2)
展開	
まとめ ク・ケ	・聞き手からのコメントをもとに自分たちの伝え方を振り返る(ク1) ・いくつかのグループがもらったコメントを発表する(ケ1) ・次時に写真付きのプレゼンにまとめるなどを伝える(ケ2)

■ワークシート・ノート・制作物のイメージ



■情報活用に関する評価

評価規準	・相手のグループに何のレシピか伝わるように必要な情報を、説明の順番や伝え方を工夫している。		
	A (十分満足)	B (概ね満足)	C (努力を要する)
	・料理の準備物と手順を分ける、料理のヒントとなる部分を強調するなど、相手に伝える工夫をしている	・料理の作り方を説明するのに十分な情報を盛り込んで発表している	・料理の作り方を説明するのに必要な情報(材料、手順など)が欠けている